

令和6年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の実施状況について

1 在宅医療・介護等連携推進協議会、部会の開催

	日 時	会場	協議事項(予定含む)
第1回 協議会	5月24日(金) 19:00～20:00	高岡市役所 802 会議室	(1) 令和6年度 在宅医療・介護等の連携推進に向けた体制(案)について (2) 各ワーキングの方向性(案)について
第1回 部会	10月10日(木) 19:30～21:00	高岡市保健 センター 3階講義室	・令和6年度第2回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方について (1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会、ワーキングの実施について (2) 在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査結果について
第2回 協議会	10月17日(水) 14:00～15:00	高岡市役所 802 会議室	(1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 部会・ワーキングの実施状況について (2) 在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査結果について
第2回 部会	令和7年2月 18日(火) 19:30～	高岡市役所 803 会議室	・令和6年度第3回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方について (1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会・部会・ワーキングの令和6年度の実施状況及び令和7年度実施計画(案)について (2) 事業評価について
第3回 協議会	3月6日(木) 19:00～	高岡市ふれあい 福祉センター 多目的ホール	(1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会・部会・ワーキングの令和6年度の実施状況及び令和7年度実施計画(案)について (2) 事業評価について

2 各ワーキングの開催(資料No.1-3～6 参照)

(1) 在宅支援ワーキング

資料No.1-3

多職種を対象とした研修会の企画・運営、多職種を対象とした連携に関するアンケートの検討、実施等を行った。

(2) 情報共有ワーキング

資料No.1-4

高岡多職種ネットを活用した研修会の企画、高岡多職種ネットの運用ルールの作成、多職種共通の情報共有ツールについての検討を行った。

(3) 普及啓発ワーキング

資料No.1-5

ACPの普及啓発についての検討、市民や多職種を対象としたACPについてのアンケートの検討、実施等を行った。

(4) 在宅医療を担う医師確保等の検討ワーキング

資料No.1-6

在宅医療を担う医師を確保するため、在宅医療の現状を把握するためのアンケートの実施や在宅医確保のための解決策について検討を行った。

3 アンケート調査の実施

(1)在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査

- ①目的 在宅医療、介護、障がい支援分野において、関係機関・職種が感じている連携の現状や課題を把握するとともに、改善策についても聴取し、調査結果を踏まえ、今後の協議会の事業計画に反映させることを目的に実施
- ②実施期間 令和6年8月1日～23日
- ③実施方法 電子申請システムによるweb回答
- ④調査対象者 高岡市内で勤務する、医療、介護及び障がい福祉関係者
- ⑤調査内容
- ・連携の現状、課題、改善策を把握するための設問
 - ・高岡多職種ネット活用状況及び課題・改善策を把握するための設問
 - ・研修会の希望するテーマを把握するための設問
 - ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する設問
- ⑥回答者数 281人

※今後の予定（案）：3年に1回実施予定（次回、令和9年度）

(2)人生いきいきノート(終活支援ノート)の配布状況に係るアンケート調査

参考資料 No.1

- ①目的 人生いきいきノート(終活支援ノート)の配布状況の現状や課題を把握するとともに、改善策についても聴取することで、今後の人生いきいきノートの有効活用・普及、ACPの推進に反映させることを目的に実施
- ②実施期間 令和6年11月25日～12月25日
- ③実施方法 電子申請システムによるweb回答
- ④調査対象者 人生いきいきノート配布事業所の管理者及び従事者
- ⑤調査内容 人生いきいきノートの配布に関する現状や課題、改善策を把握するための設問
- ⑥回答者数 105人

※今後の予定（案）：3年1回実施予定（次回、令和9年度）

(3)終活の取組状況に係る市民アンケート調査

参考資料 No.2

- ①目的 市民の終活の取組状況を把握することで、今後のACPの推進に反映させることを目的に実施
- ②実施期間 令和6年11月22日～12月25日
- ③実施方法 TAKAOKA アプリから回答
- ④調査対象者 TAKAOKA アプリをダウンロードしている18歳以上の市民
- ⑤調査内容 終活の取組状況を把握するための設問、終活に取り組んでいない理由を把握するための設問
- ⑥回答者数 479人

(4)在宅医療に関するアンケート

参考資料 No.3

- ①目的 訪問診療、看取り、在宅医療連携の現状を把握し、今後の在宅医の確保につながる解決策を図ることを目的に実施
- ②実施期間 令和6年7月
- ③実施方法 アンケート用紙をメール等で配布、回答を返送してもらう
- ④調査対象者 在宅医療連携会の医師 35 人
- ⑤調査内容 訪問診療、看取りの実績、高岡多職種ネットの活用状況、在宅医を増やすために必要と思われること等の設問
- ⑥回答者数 25 人（回答率 71.4%）

4 研修会の開催

	日 程	場 所	参加者数	内 容
第1回	9月27日(金) 19:15～20:30	高岡市役所 802 会議室 ※集合形式	59 名	(1) 取り組み紹介「高岡市における緩和ケアの取り組みについて」 (2) グループワーク「知的障害、脳性麻痺のある方の卵巣癌末期の症例」
第2回	12月3日(火) 19:15～20:15	Zoom 開催	100 名	(1) 情報提供「高岡多職種ネットについて」 (2) 講義『ワンチームを作ってくれた高岡多職種ネット～肺癌患者さんを自宅で看取った症例から～』 (3) 取り組み紹介（訪問看護師、ケアマネジャーの立場から）
第3回	2月7日(金) 19:15～20:15	Zoom 開催	102 名	(1) 講義『生活困窮における現状と対応について』 (2) 制度の紹介 ・生活困窮者自立支援制度の各事業について ・生活困窮者支援 - 無料低額診療事業を利用した事例 -

5 普及啓発の実施

日 程	内 容
11月17日(日)	高岡市民健康フォーラムでの「人生会議」の啓発(参加者数 120 名) 寸劇「人生いきいきノート」上映、人生いきいきノート配布
11月	11月30日の「いい看取り・看取られ『人生会議』の日」に合わせて、市公式 LINE や広報紙で「人生会議」の普及、人生いきいきノートの紹介
11月22日～12月25日	終活の取組状況に係る市民へのアンケート調査実施
11月25日～12月25日	人生いきいきノートの配布状況に係る多職種へのアンケート調査実施
1月	市ホームページに漫画で読む「人生会議」(厚生労働省作成)を掲載、TAKAOKA アプリにおいても周知
2月	65歳到達者へ介護保険証送付時に同封しているリーフレットに、人生いきいきノートの周知や、市ホームページ「あなたも『終活』について考えてみませんか」の二次元コードを掲載

令和6年度に出された意見や把握した課題と対応状況

1 協議会等の意見との対応状況

	主な意見、課題	対応状況
1	・評価指標を各ワーキング部会で検討する必要がある。 ・プロセス評価、アウトプット評価も大切にし、実施した過程についても評価していくとよい。	・各ワーキングで指標を検討した。 ・ロジックモデルを作成し、引き続き評価していく。
2	各ワーキング部会で出た意見を協議会で協議するには、各ワーキング部会の内容の把握が必要。	各ワーキングの議事録を協議会、部会、ワーキング委員に共有した。
3	県の会議で、DPC ビックデータを使用した高岡医療圏の予測値の紹介があり、誤嚥性肺炎、骨折の患者が増えるとのことであった。肺炎、骨折は予防可能なため、この協議会で手立てを考えていくことが必要。	令和7年度に対応予定
4	入退院時に、どの職種でもわかるような情報共有ツールがほしい。	令和7年度に対応予定
5	ACP の仕組みを作っていくこと、若いうちから考えていくことが大切である。 ACP について、専門職と市民への普及が大切。	令和7年度に対応予定
6	退院後の医療や在宅介護サービスの内容や手続きについて市民に分かりやすく示してほしい。	令和7年度に対応予定

2 アンケートからの主な意見、課題と対応状況

	主な意見、課題	対応状況
1	多職種が集合して顔が見える形で、各自の情報を共有できる機会があればよい。	対面による多職種事例検討会を実施した。
2	多職種が情報共有を行う際のルールを作成したり、研修会を開催し、具体的な連携事例等を知ることが大切。	・高岡多職種ネットの利用者ルールを設定し、掲示板上で通知した。 ・研修会で、高岡多職種ネットを活用した多職種連携事例を紹介した。
3	ADL の状態が分かる統一ツールがあれば便利。	情報共有ワーキングで、ツールの検討を行った。
4	より多くの関係機関が高岡多職種ネットを活用しないと、高岡多職種ネットの入力に加え、電話連絡等の従来の連携も必要になり負担。	高岡多職種ネットを活用した研修を実施した。
5	研修会のテーマとして生活困窮、認知症の希望が多かった。	生活困窮についての研修会を実施した。
6	協議会で何を話し合っているのかが分からない。会議や議事録の公開をしてほしい。	市ホームページに協議会の資料、議事録を掲載した。
7	職種により、ACP の理解度に差がある。	令和7年度に対応予定
8	・市民全体にもっと ACP について理解を深めてもらう場が必要。 ・物心ついた子どもから高齢者まで、生老病死を我が事として考えることが必要。	令和7年度に対応予定